

一緒に 考えませんか?

低炭素社会づくりを目指し、2020年までの温室効果ガス削減目標は、05年比15%削減（90年比8%減）と決まりました。中期目標実現のためには、家庭にも具体的な取り組みを促すとともに、一世帯あたり年間7.6万円の国民負担についても触れています。

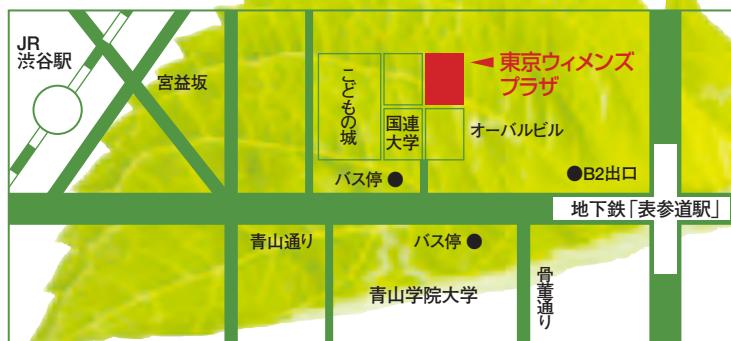
私たちはこの中期目標をどのように受け止めたらいいのでしょうか。そして、私たちの暮らしはどうなるのか、どう影響するのか、次世代のために生活に欠かせないエネルギーはどのようにしたらよいのかなど、参加される来場者のアンケートを通して、一緒に考える機会を持つこととしました。

私たちの暮らしとエネルギー

～幸せ最大、エネルギー最小の社会とは～

■開催日時：平成21年9月26日土 13:30～15:40（開場13:00）

■開催場所：東京ウィメンズプラザ（ホール）



〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67

入場
無料
定員150名
(先着順)

【交通】

- JR山手線・東急東横線・京王井の頭線：渋谷駅下車徒歩12分
- 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線：表参道駅下車徒歩7分
- 都バス（渋88系統）：渋谷駅からバス4分 青山学院前バス停下車徒歩2分

■アンケート：参加申し込みの際、4問のアンケートにご協力を願いいたします。
アンケート結果を紹介しながら、シンポジウムを進行します。（アンケートは裏面）

■登壇者：

パネリスト



木元 教子 (きもとのりこ) 氏 / 評論家・ジャーナリスト

TBSのアナウンサーを経てフリーとなり、現在はエネルギー・環境、教育、女性、高齢化、農業問題など幅広い分野で放送番組等への出演、講演、執筆等を行っている。1998年～2006年末までの9年間、内閣府原子力委員会委員を務める。現在も経済産業省をはじめ多くの審議会委員等の公職を務める。絵本「100年後の地球」、共著「私たちは、なぜ放射線の話をしますか?」、「六ヶ所が目指すこと」など著書多数。

コーディネーター



枝廣 淳子 (えだひろじゅんこ) 氏 / 環境ジャーナリスト・翻訳家

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。2つの会社を経営する傍ら執筆、講演、翻訳、環境NGO運営、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」委員など、環境を軸に多様な活動を展開中。企業や自治体、一般市民を対象に「温暖化」「生物多様性」「環境とビジネス」などのテーマで多くの講演を行う。その他「システム思考」「セルフマネジメント」「キャリアアップ」研修などを多数開催。主な著書に『朝2時起きで、なんでもできる!』『地球とわたしをゆるめる暮らし』、訳書に『不都合な真実』『成長の限界 人類の選択』ほか多数。

秋庭 悅子 (あきば えつこ) 氏 / 消費生活アドバイザー・NPO法人あすかエネルギー・フォーラム理事長

早稲田大学商学部卒業、1989年に消費生活アドバイザー資格を取得。エネルギー、住宅、通信関連の企業のアドバイザーを経て、2003年にNPO法人あすかエネルギー・フォーラムを設立。「生活者の視点でエネルギー問題について考え、行動しよう」をキャッチフレーズに全国で活動している。また、（社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会の常任理事・広報委員長も務めている。経済産業省総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会、原子力部会などの委員。



【FAX申込用紙】 FAX 03-3593-6124

FAXまたはお葉書、ホームページでお申し込みください。参加証をお送りします。

◆ 申し込み先

は が き：『フォーラム・エネルギーを考える』事務局宛
〒105-0003 港区西新橋1-6-15 西新橋愛光ビル8F

F A X : 03-3593-6124

ホームページ：http://www.ett.gr.jp/mkomi/20090926_tokyo.html



お名前		年齢	歳代
電話番号			
ご住所	〒 一 <small>勤務先の場合、組織名、所属部署名もご記入ください</small>		
今後、私たちが主催する事業のご案内をお送りしてもよろしいでしょうか。		はい・いいえ	

個人情報の取扱いについて 1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、「フォーラム・エネルギーを考える」事務局が、(財)日本生産性本部の個人情報保護方針(<http://www.jpc-sed.or.jp/>をご参照下さい)に基づき、安全管理し、保護の徹底に努めます。2. 個人情報は、講演会の送付、および「フォーラム・エネルギーを考える」が主催する事業の「ご案内・希望者のみ」希望者はお書きに明記)に利用させていただきます。3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。4. 講演券の送付を外部に委託することはありませんが、委託者はご本人へのサービス提供に必要な個人情報をだけ開示し、サービス提供以外に使用されることはありません。5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。本件については、「フォーラム・エネルギーを考える」事務局までご連絡下さい。6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人の自由です。ただし必要な個人情報が不足している場合は、「フォーラム・エネルギーを考える」からのサービスの全部または一部が受けられないことがありますのでご了承願います。7. 「フォーラム・エネルギーを考える」は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。8. 本会内記載事項の全部を無断転載をお断りいたします。* 参加申込者は、上記の「個人情報の取扱いについて」に同意した上で申込みます。



◆ 参加にあたりまして、下記のアンケートをご協力をお願いいたします。

問 1. 去る6月に国は2020年までに日本の温室効果ガスの排出量を05年比で15%減(京都議定書の基準年である90年比では8%減)とする中期目標を発表しました。あなたはこの「15%減」についてどのような感想をお持ちですか。ひとつだけ選び、○をしてください。

ア. 大きすぎる イ. 妥当な水準である ウ. 小さすぎる

問2. 今回の中期目標は家計への負担が年間7万6千円（一ヶ月あたり6千円強）と言われていますが、あなたは一ヶ月あたりの家計の負担はどの程度まで増えてもよいとお考えですか。ひとつだけ選び〇をしてください。

ア. まったく負担したくない イ. 500円未満 ウ. 500円以上1,000円未満
エ. 1,000円以上2,000円未満 オ. 2,000円以上5,000円未満 カ. 5,000円以上

問 3. あなたは温室効果ガスの削減に向けた対策は何が一番有効であると思われますか。次の選択肢から3つ選択し、該当するアルファベットに○をしてください。

- a. CO₂排出量の多い製品に税を課して価格を引き上げることで消費を抑制する
- b. カーボンフットプリント(炭素の足跡)制度を導入し、商品におけるCO₂排出の見える化をする
- c. 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及
- d. 原子力発電により電力量の割合を増やす
- e. 発電効率のいい火力発電や省エネなど、最先端の技術を通じて発展途上国を支援する
- f. 断熱住宅など普及、省エネ製品への買い替えなど、省エネルギーに取り組む
- g. 次世代自動車への買い替えやカーシェアリング、公共交通機関の利用に取り組む
- h. サマータイムの導入なども考え、生活のあり方などを変える

問4. 低炭素社会に向けた生活や、エネルギー、環境などについてあなたが日ごろ感じていらっしゃることがあれば、自由に200字以内で記入してください。